

質問：「障がい者が地域で暮らせる社会」。「自立と共生の社会」を目指す、障がい者福祉計画の見直しにあたって、ご意見、ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

集計結果	
家計・出費	5 5
利用サービス	4 3
障がい者理解	3 0
町・計画づくり	2 8
相談体制	2 3
設備・整備	2 1
情報	1 9
就労	1 5
交通	1 3
医療	1 3
介助・介護	9
災害	9
障がい児対策	8
審査・申請	6
その他	2 6

「家計・出費」、「利用サービス」に関する意見が多くなっています。次に「障がい理解」「町・計画づくり」に関する記述が続きました。

回答例

【家計・出費】

- ・ 自立して生活していくうえで、経済的なことが最も不安。
- ・ 障害年金だけでは生活できない。

【利用サービス】

- ・ 外出をしたいが、ヘルパーの人数不足でなかなか希望通りに外出できない。
- ・ 通学のサポートに移動支援を利用したい。
- ・ 将来はグループホームで生活してほしいと考えているが、町内のグループホームが少ない。また、重度の障がい者が利用できるグループホームを整えて欲しい。
- ・ 医療型の入所施設が少ない。また吸引等ができるヘルパーをもっと増やして欲しい。
- ・ 福祉サービスを利用しているが、利用料を増やしたくてもなかなか了解されない。

【障がい者理解】

- ・ 障がいにはさまざまな種類や程度があるため、それらを全て理解してもらうのは大変

難しいと思う。

・大人よりも小、中学校ぐらいの子供たちの障がい者理解が全くない。外に出るたび、人の目を気にして生きていかなければならないのは苦痛だ。

- ・障がいについての理解が少ない。人に話しても伝わらないことが多い。
- ・住民の障がいへの関心度が低いように思う。

【町・計画づくり】

- ・アンケートではなく、聞き取り調査の方がいいのではないか。
- ・アンケートの量が多すぎて、負担である。

【相談体制】

- ・全部一カ所で済むような相談場所が欲しい。
- ・発達障がいのことをきちんと知っている相談先が増えてほしい。

【設備・整備】

・足の障がいです。災害時に避難することを考えると、公共施設に和式トイレしかないことに不安を感じる。

- ・バリアフリー化の充実が必要である。
- ・障がい者の住宅の整備をお願いしたい。
- ・車いすでも困らない段差のない町づくりが必要。

【情報】

- ・障がいに関する情報源・情報量をもっと充実してほしい。
- ・福祉サービスを利用していないため、情報が全く入ってこない。

【就労】

・精神障がい者は働き先がないのが現状なので、ハローワークとの連携を密にして欲しい。

- ・就職先を決めたいときにアドバイスを受けられるスタッフがいるとよい。
- ・就労についての相談場所が少ない。

【交通】

- ・外出するにもタクシー以外に手段がない。
- ・外出時の交通機関の充実が必要だと思う。

【医療】

- ・近所に病院がほしい。
- ・人工透析をしているが、町内に透析ができる医療機関がない。

【介助・介護】

・現在は夫婦で娘の介助をしているが、主人がいなくなったら一人で介助を続ける自信がない。

- ・両親が亡くなった時に不安がある。

【災害】

- ・ 大災害の時には、町内会や民生委員から一声かけていただくと有難い。
- ・ 有事の際にどう動けばよいのか、フローチャートなどを作ってリスク回避のための準備の必要がある。
- ・ 避難は一人で出来るが、そのあとどうしたらいいのかわからない。指示をしてくれる掲示板があると安心できる。

【障がい児対策】

- ・ ことばの教室や自立のための訓練などができる場所があるとよい。
- ・ 全ての小、中学校に特別支援教室の設置を強く希望します。
- ・ 特別支援学級でなくともボランティアで発達障がい児の講習を受けた人がサポートについてくれる制度があれば、通常級でも安心して学校に通わせることができると思う。

【審査・申請】

- ・ 一年を通して、どの時期に申請があるなどの予定表があると助かる。
- ・ 手続き、申請の窓口を一本化し、簡素化出来たらよい。
- ・ 利用できる全ての制度を抜けなく説明してもらえる体制を取ってほしい。